

六曜

<六曜とは>

日めくり暦などに、先勝、友引、先負、仏滅、大安、赤口などと書かれていて、結婚式や葬式の日取りを決める際の参考として使用されるケースがあります。

これが六曜（ろくよう）です。

六曜は、一か月を5つに分けてそれぞれの日を区別するための記号として、鎌倉時代末期ごろから使われてきたと考えられていますが、日曜から始まる今日の七曜と同じような性格のものです。

明治時代に“迷信である”として政府によって禁止されたこともあり、今日でも“差別につながるおそれがある”として反対する意見もありますが、一般には民族的な慣行として受け入れられているように思われます。

<意味>

六曜は、先勝→友引→先負→仏滅→大安→赤口の順で繰り返されますが、旧暦の毎月1日は次のように定められています。

1月／7月「先勝」、2月／8月「友引」、3月／9月「先負」、4月／10月は「仏滅」
5月／11月は「大安」、6月／12月は「赤口」

また、その吉凶については“土御門系”と“高島”という代表的な易道で多少の違いもあるようです。

先勝（せんしょう・せんかち・さきかち）

「先んずれば、すなわち勝つ」という意味。

土御門 午前中は吉、午後は凶、急いで吉

高島 万事急ぐこと吉、午後は凶

友引（ともびき・ゆういん）

「凶事に友を引く」という意味。葬式や法事を行うと、友が冥土に引き寄せられるという迷信があります。

土御門 午後は利益なく、優雅知多は吉

高島 夕は大吉、葬儀を忌む

先負（せんぷ・せんぶ・せんまけ・さきまけ）

「先んずれば、すなわち負ける」という意味。勝負事や急用は避けるべきだとされています。

土御門 平静を守って吉、午後吉

高島 静かなことに吉、午後吉

仏滅（ぶつめつ）

「仏様も滅亡するような最悪の日」という意味。この日は六曜の中での大悪日とされ、婚礼や祝儀などを忌み嫌う風習があります。

土御門 吉凶なし

高島 凶事、万事に凶

大安（たいあん・だいあん）

「大いに安し」の意味。万事に用いて吉とされています。

土御門 吉事にて万事進んでよし

高島 吉日、旅行・移転その他吉

赤 口 (せきぐち・しゃっく・じゃっく・しゃっこう・じゃっこう)

「赤目日」という凶日に由来します。

土御門 正午は吉, 前後は大凶

高島 凶日, ただし正午だけ吉